

# 京都大阪森林管理事務所の概要



「古事の道」開通式(平成21年5月)

平成22年3月15日  
京都大阪森林管理事務所

# 目 次

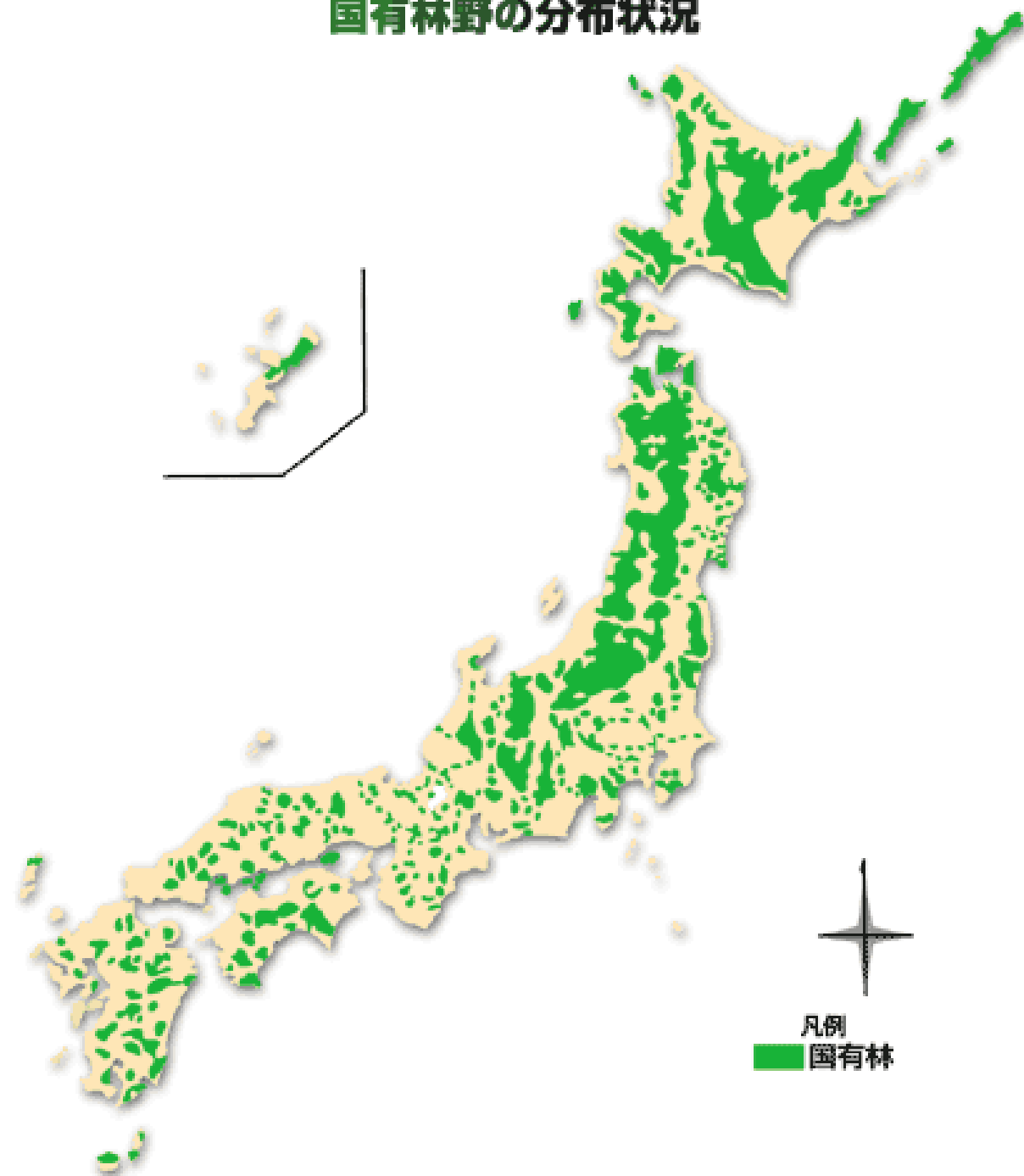
1. 国有林について
2. 京都大阪森林管理事務所について
3. 主な事業内容
4. 最近のトピック

# 1. 国有林について

- 日本の国土の約2／3が森林。
- 日本の森林の約1／3が「国有林」。
- 国有林は日本の国土の約2割。

|       | 面積       | 割合   |
|-------|----------|------|
| 国土面積  | 3,700万ha | 100% |
| うち森林  | 2,500万ha | 67%  |
| うち国有林 | 760万ha   | 21%  |

## 国有林野の分布状況



## 土地面積に占める国有林率

| 地域    | 国有林割合 |
|-------|-------|
| 北海道   | 37%   |
| 東北    | 32%   |
| 北陸    | 15%   |
| 関東甲信越 | 10%   |
| 東海    | 10%   |
| 近畿    | 3%    |
| 中国    | 5%    |
| 四国    | 10%   |
| 九州・沖縄 | 13%   |

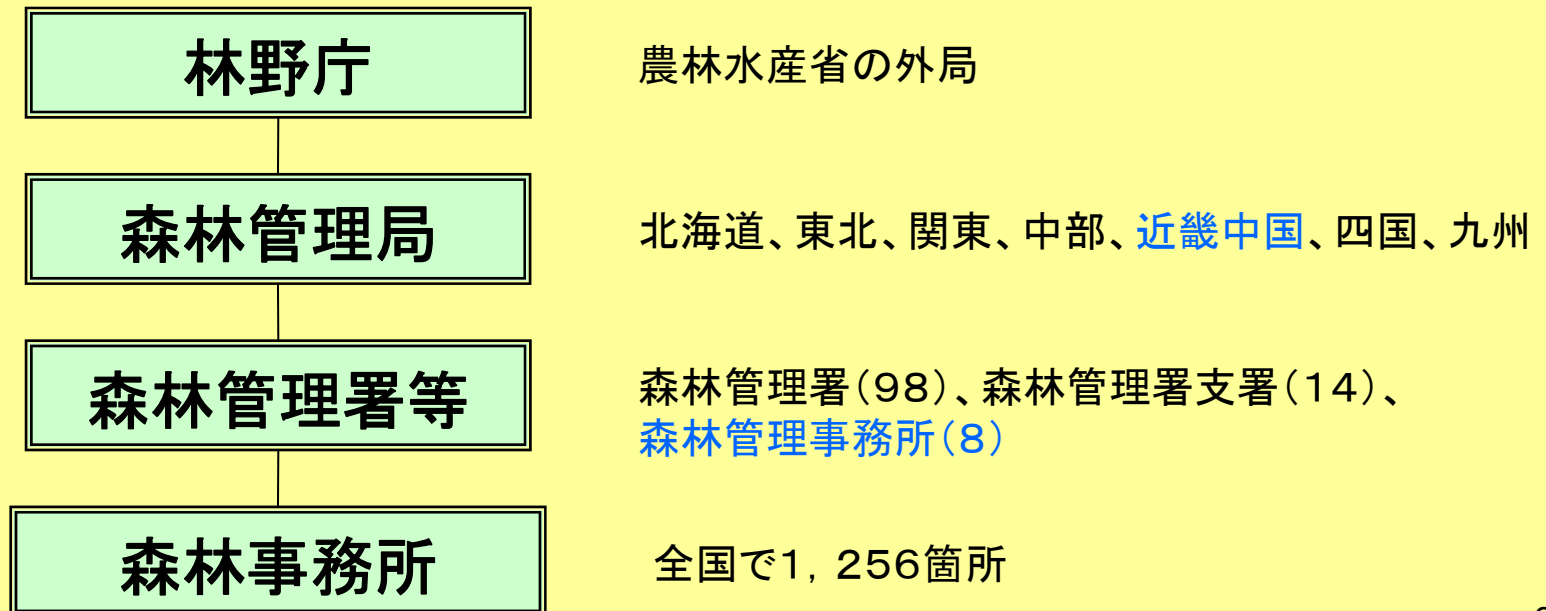
# 1. 国有林について

## (国有林の成立)

- 国有林は、明治2年の**版籍奉還**によって、明治政府が**旧幕藩有林**を承継したことにより成立。
- 明治4年に「**社寺土地令**」により、**旧社寺領**を官有地に編入。
- 明治6年から14年にかけて、地租改正に伴って行われた**土地の官民有区分**により境界確定、**村持入会林**を国有林に編入。
- その他、購入、交換、所管替えなどにより編入。

# 1. 国有林について

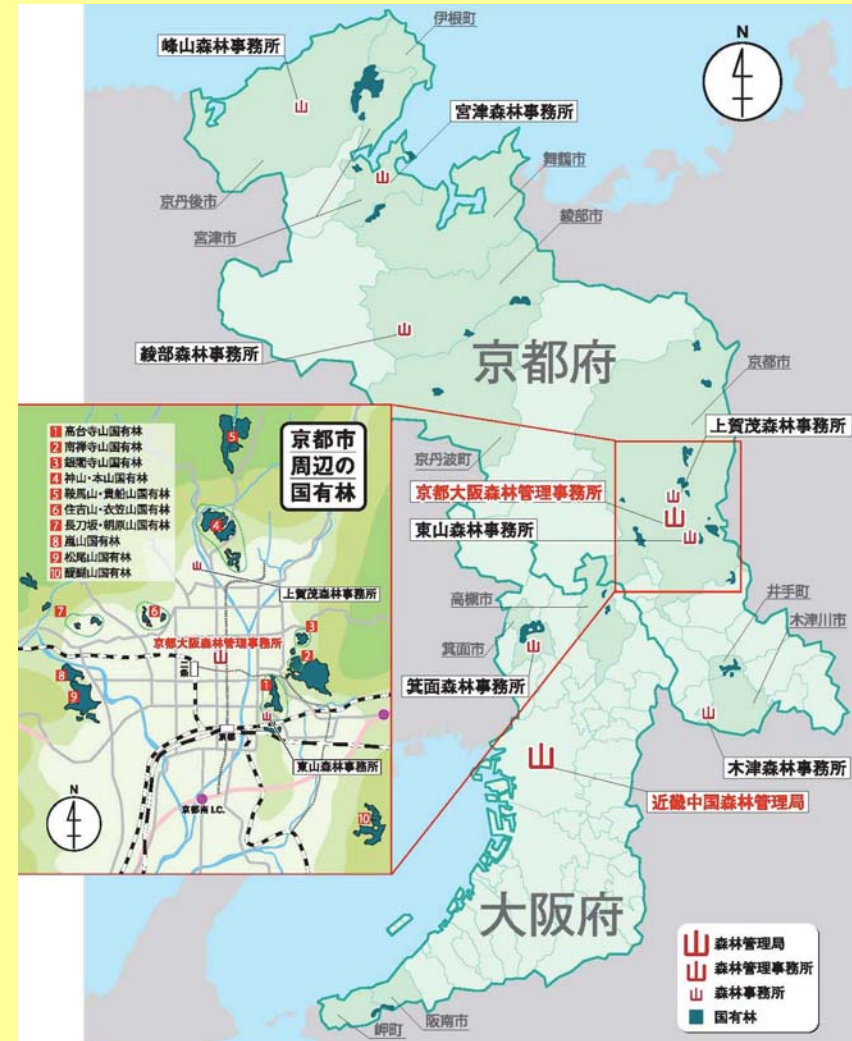
- 林野庁が国営企業(現業)として国有林を管理経営。
- 林野庁本庁の下に、地方ブロック組織として7箇所の森林管理局を設置。
- 森林管理署等が現場の管理経営を実施。





## 2. 京都大阪森林管理事務所について

- 近畿中国森林管理局の下部組織。
- 京都府・大阪府に所在する**国有林**約5,700ha及び**官行造林地**約1,900haの管理経営を担当（森林面積に対する国有林の割合は、京都府で約1%、大阪府で約2%）。
- 管内の国有林は**小規模散在**。
- 京都市内では、**東山**、**貴船山**、**嵐山**などが国有林、大阪府内では、**箕面山**などが国有林。
- 森林事務所: 7箇所（東山、上賀茂、綾部、宮津、峰山、木津、箕面）
- 職員数: 21名



## 2. 京都大阪森林管理事務所について

- 京都市内には約1,400haの国有林が所在。
- 東山には、清水寺、八坂神社、知恩院、南禅寺、銀閣寺などの背後に高台寺山国有林、南禅寺山国有林、銀閣寺山国有林などが所在。
- 北山には、貴船神社、鞍馬寺の背後に、鞍馬山国有林、貴船山国有林が所在。
- 西山には、天龍寺、苔寺の背後に、嵐山国有林、松尾山国有林などが所在。
- 京都市内に所在する国有林の多くは、明治初期の「社寺上知令」により国有林に編入された旧社寺領。





### 3. 主な事業内容

- (1) 製品生産事業
- (2) 森林整備事業
- (3) 治山事業
- (4) 「国民の森林」に向けた取組

## (1) 製品生産事業

- 林産物の持続的・計画的な供給は、国有林野事業の使命の一つ。
- 平成21年度は、**大悲山国有林(京都市)**及び**箕面国有林(箕面市)**において、製品生産事業を実施。約1,630立米のスギ・ヒノキ丸太を生産、木材市場で委託販売。



## (2) 森林整備事業

- 京都議定書における森林吸収量確保のため、**間伐の推進**が喫緊の課題。
- 松枯れ、ナラ枯れ等の**病虫害**も拡大傾向。
- 平成21年度は、**保育間伐81ha**(10箇所)、**下刈3ha**等を実施。**松枯れ対策**、**ナラ枯れ対策**も被害状況を踏まえて実施。



### (3) 治山事業

- 山地災害から国民の財産・生命を守るために、森林の維持造成を図る治山事業を実施。
- 平成21年度は、嵐山、鞍馬山、歓喜山(京都市)、大谷(舞鶴市)において、山腹工等を実施。



## (4)「国民の森林」に向けた取組

- 国有林を「国民の森林」とするため、国民との幅広い連携が求められている。このため、市民団体等への活動フィールドの提供、森林環境教育の実施、CSR活動への支援などに取り組み。
- 平成21年度は、「嵐山国有林の取扱いに関する意見交換会」の開催、民有林との連携による「森林共同施業団地」の設定などに取り組み。





## 4. 最近のトピック

- (1) 「京都伝統文化の森推進協議会」との連携
- (2) 大文字保存会への薪供給
- (3) 「京都古事の道」の開設
- (4) 「嵐山国有林の取扱に関する意見交換会」



③「京都古事の道」  
の開設  
(鞍馬山国有林)

②大文字保存会  
への薪供給  
(銀閣寺山国有林)

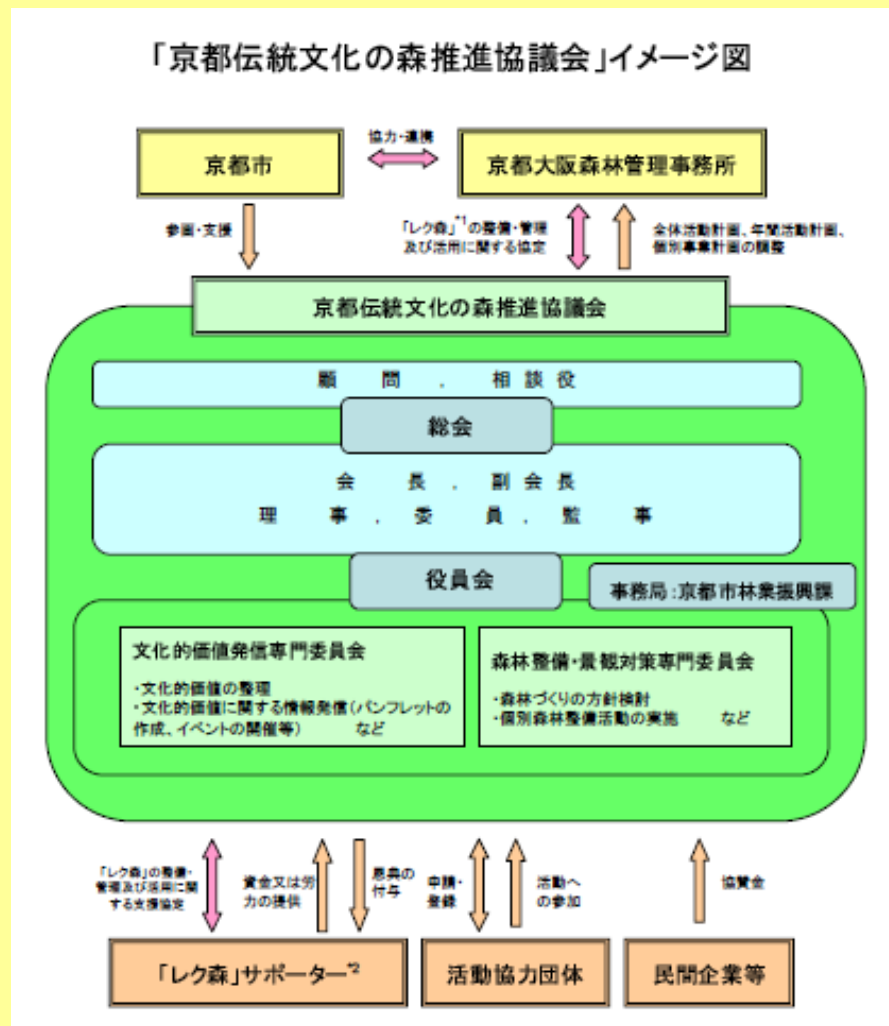
①「京都传统文化の森  
推進協議会」との連携  
(高台寺山国有林外)

④「嵐山国有林の取扱  
に関する意見交換会」  
(嵐山国有林)

# (1)「京都伝統文化の森推進協議会」との連携

## (概要)

- 平成19年12月に、京都市内の「**東山風景林**」を活動対象として、学識経験者、文化団体、経済界、行政機関から成る「京都伝統文化の森推進協議会」設立。
- 協議会では、広範な関係者の参加を通じて、外部資金の導入を図りつつ、東山風景林の文化的価値につき**情報発信**を行うとともに、外部資金の導入を図りつつ、**森林整備・景観対策**を実施。
- 連携の形態として、「**『レク森』サポーター**」「**活動協力団体**」「民間企業等」による協賛金の拠出」を用意。
- 事務局は京都市の林業振興課。



図：協議会イメージ図

# (1)「京都伝統文化の森推進協議会」との連携

## (主な活動状況)

- サポーター4団体(青蓮院、清水寺、高台寺、祇園商店街)と協定を締結。**資金提供**を受け入れ。
- シイ林に移行しつつある林相の改良に向けて、**シイの試行的伐採**を実施。
- カシノナガキクイムシ被害木の有効利用のために、**薪割イベント**を開催。
- **清掃活動**「東山クリーン作戦」を開催。
- **一般向けシンポジウム**「森に学び、森で学ぶ」を開催。





## (2) 大文字保存会への薪提供

- 「五山の送り火」では、燃焼時間の関係から、脂ののった80年生程度のアカマツのみを薪として使用。
- これまで、大文字保存会の共有林から自給してきたが、松枯れにより、薪材の確保が困難化。
- 一方、当所では、同会共有林に隣接する銀閣寺山国有林において、マツ林再生に取り組み（衛生伐、樹幹注入、除伐、地搔き）。
- 平成20年度に、銀閣寺山国有林のアカマツ枯損木55本を同会に提供。8月の送り火では、当日燃える薪の1割程度が銀閣寺山国有林由来のものとなった。



処理済みのアカマツ枯損木



「送り火」の割木



# 材伐の間林の国有 火送り文字大

「五山送り火」の一つ、大文字山（京都市左京区）の送り火で松材の不足に悩む地元

の共有林で伐採した被害木をまきに使うようになった。

のNPO法人（特定非営利活動法人）「大文字保存会」が、京都大

保存会、松不足で使用

阪森林管理事務所（上京区）の管理する大文字山中の国有林の間伐材を、今年

の送り火で初めて使用する。

大文字山を含む東山一帯は松枯れの被害が深刻化しており、同保存会は昨

年から地元の共有林で伐採した被害木をまきに使うようになった。

「五山送り火」の一つ、大文字山（京都市左京区）の送り火で松材の不足に悩む地元

のNPO法人（特定非営利活動法人）「大文字保存会」が、京都大

## 送り火に松枯れの薪

大文字山

国、保存会に格安提供

京都市内で16日に行われ「五山送り火」の一つ、「大文字山」（左京区）の送り火で、マツクイムシ被害で伐採された国有林のアカマツが薪として使われるようになった。林野庁京都大阪森林管理事務所（上京区、約24ha）から伐採した

区）が、薪の確保に苦慮していたNPO法人「大文字保存会」に格安で提供した。五山送り火に国有林を活用するのは初めてという。

大文字山北側に位置する「徳間寺山国有林」（左京区、約24ha）から伐採した

が、薪の確保に苦慮していたNPO法人「大文字保存会」に格安で提供した。五山送り火に国有林を活用するのは初めてという。

大文字山北側に位置する「徳間寺山国有林」（左京区、約24ha）から伐採した

が、薪の確保に苦慮していたNPO法人「大文字保存会」に格安で提供した。五山送り火に国有林を活用するのは初めてという。

大文字山北側に位置する「徳間寺山国有林」（左京区、約24ha）から伐採した

が、薪の確保に苦慮していたNPO法人「大文字保存会」に格安で提供した。五山送り火に国有林を活用するのは初めてという。

が、薪の確保に苦慮していたNPO法人「大文字保存会」に格安で提供した。五山送り火に国有林を活用するのは初めてという。

平成20年8月14日読売新聞（朝刊27面）

平成20年8月13日京都新聞（朝刊29面）

### (3)「京都古事の道」の開設

- 当所では、平成14年及び15年に、鞍馬山国有林の約2haに、文化財修復用材の供給を目指して、数百年の超長伐期施業を行う「京都古事の森」を設定。
- 平成21年度に、「古事の森」の更なる普及を図るため、京都古事の森育成協議会が「古事の森」を周回する探索路「京都古事の道」を開設。本年5月に「開通式」を開催。
- 探索路には、説明版と道標を設置するとともに、パンフレット（和文・英文）を約1万枚作成・配付。



「京都古事の森」のヒノキ林



開通式のテープカット



## 鞍馬の森に親しんで



「京都古事の道」を散策する人たち（京都市左京区）

# 「古事の道」開通

文化財修繕用の木材供給のため京都市左京区の鞍馬山にある「京都古事の森」に親しんでもらうと、「京都古事の森育成協議会」が整備していた「京都古事の道」が二十一日、開通した。ヒノキ林などを抜ける二つの園路で、関係者は「賞品の川床のお客さんも散策してほしい」と期待している。

### 育成協議会

古事の森は、林野庁京都大阪森林管理事務所（上京区）が二〇〇二、〇三年に鞍馬山国有林の約二〇ヘクタールに設定。樹齢百年のヒノキ林で

## 賞品の案内地図置く

船の旅館や飲食店 案内地図置く

開通式には協議会のメンバーら三十人が出席。会長の高井和大・賞品神社宮司が「森林の大切さを多くの人に足を運んで知ってもらいたい」とあいさつし、参加者は実際に歩いて汗を流した。

（相見昌範）

H21.5.22(金) 京都新聞(朝刊) 22面

# 「京都古事の道」探索マップ



「京都古事の森」のヒノキ樹林

近年、神社仏閣等の木造建築の修復に必要な大径材の供給は困難になりつつあります。

このため、「京都古事の森育成協議会」では、平成14年及び15年に、林野庁近畿中国森林管理局京都大阪森林管理事務所と連携しつつ、鞍馬山国有林の約2haに、文化財修復用の材の供給を目指して、数百年の超長伐期施策を行う「京都古事の森」を設定しました。

「京都古事の森」は、明治36年に植栽された樹齢約100年のヒノキ林を抜き伐りした後に、ヒノキの苗木を植えた「複層林」となっています。「複層林」とは、樹高・樹齢の異なる立木により、2つ以上の林冠（枝葉の囲まり）の層で構成される森林のことで、模倣を発生させることにより次世代の森林を育成できるという利点があります。

「京都古事の道」は、「京都古事の森」をめぐる40分程度の探索路です。途中、ヒノキの太木の下に苗木を植栽した「複層林」や樹齢100年以上の大径木から成る「旧探種林」などを見学することができます。ご自由に探索をお楽しみ下さい。



樹齢100年以上のヒノキから成る旧探種林



展望エリアからの眺め



賞品神社の参道

### 京都古事の森育成協議会



【事務局】  
林野庁 近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所  
602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下丁子屋町 102  
TEL: 075-414-9822, FAX: 075-432-2375, e-mail: ko\_kyoto@rinya.maff.go.jp

※「京都古事の道」は、国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」による助成事業です。

## (4)「嵐山国有林の取扱いに関する意見交換会」

### (背景)

- 昭和57年より、「嵐山植林育樹の日」として、**サクラやカエデの植栽**を進めてきたが、**相当数が枯死**。  
→ 植栽方法の再検討
- 嵐山の**観光客数は増加傾向**にあるが、**渡月橋周辺に集中**。  
→ 国有林内に所在する歴史的・文化的資源の活用
- **シカ**による食害・剥皮、**サル**による折損が発生。  
→ 生息状況の把握
- 継続的な治山事業の実施により、**落石被害は減少**。一部老朽施設あり。  
→ 安全確保措置の継続



天龍寺庭園から見た嵐山坂国有林



林内の様子



## (5)「嵐山国有林の取扱いに関する意見交換会」

### (意見交換会の開催)

- 嵐山国有林の取扱方針について、幅広い観点から検討を行うことを目的として、今年度、「嵐山国有林の取扱いに関する意見交換会」を設置。地元関係者6名と専門家4名が委員。
- 5回の会合を開催。植生、景観、獣害、治山の専門家より、報告・提言を受けた上で、意見を取りまとめ。とりまとめを踏まえて、次年度以降の事業を実施。
- 次年度以降も、情報交換・意見交換を継続。





## 嵐山国有林 住民ら取扱方針決める



まとめた方針を前倒しして適用し、広範囲に高木を伐採した斜面、近くここに、サクラやモミジの苗木を植える（京都市西京区・嵐山国有林）



意見交換会の後、「嵐山植林育樹の日」に合わせた植栽の取り組みで、サクラの苗木に土をかぶせる参加者。今後、本格的な植栽は京都府森林管理事務所が単独で行う（京都市西京区・嵐山国有林）

天龍寺や嵐山保護会の代表と植生や治山などの専門家とつくる「嵐山国有林の取扱に関する意見交換会」事務局・同森林管理事務所との会合が同日、右京区であり、「嵐山国有林の今後の取扱方針」を決定した。植栽は、2月の「嵐山植林育樹の日」に嵐山保護会と協力して行う。本年度もこの日に当たる28日、意見交換会の後、例年より規模を縮小して実施した。一方、本格的な取り組みは、苗木に合った斜面で事務所の単独事業として行う。歩道の整備は、落石の危険がある国有林の利用促進にあたり安全を確保するのが目的。具体的には作業道を補修し、山中の名所「蔵王権現堂」への参拝コースを段階的に整えていく予定。コースの一般開放の時期は未定で、まずはガイドツアーに取り組み（松田ゆい）

## 植栽 専門家と意見交換

サクラやモミジの苗木が育たず、無頼に影害が出ている嵐山の国有林（京都市西京区、5000坪）について、大胆に木を切って植栽した苗木を育てるという対策を、管理する京都府森林管理事務所（上京区）と地元住民代表、表参道が25日にまとめた。嵐山を「見る山」だけでなく、「中に入る山」にするため、新年度から山中で歩道の整備も始めるという。

## 択伐や歩道整備へ

方針を決めた。

方針は、近年のサクラやモミジの植栽がうまくいっていない原因となっている陽光不足を解決するため、植栽の前には周囲の高木を「群状択伐」し、「二方所あたり最大500平方メートルの無立木地を確保する」とした。植栽後の管理も徹底する。伐採は以前から行っていたが、きつちりとしたのではなく、なるべく残る傾向があったという。福田淳・森林管理事務所長は「今までルールは実務局・同森林管理事務所との会合で同日、右京区であり、「嵐山国有林の今後の取扱方針」を決定した。植栽は、2月の「嵐山植林育樹の日」に嵐山保護会と協力して行う。本年度もこの日に当たる28日、意見交換会の後、例年より規模を縮小して実施した。一方、本格的な取り組みは、苗木に合った斜面で事務所の単独事業として行う。歩道の整備は、落石の危険がある国有林の利用促進にあたり安全を確保するのが目的。具体的には作業道を補修し、山中の名所「蔵王権現堂」への参拝コースを段階的に整えていく予定。コースの一般開放の時期は未定で、まずはガイドツアーに取り組み（松田ゆい）

平成22年2月26日（金）京都新聞（朝刊）28面（市民版）

## 嵐山国有林を抜本整備

### ヤマザクラなどで景観保全へ



意見交換会をふまへ、5000平方メートルの無立木地を確保し、サクラの苗木を植える

ヤマザクラや真鍮などの課題を抱える嵐山国有林（西京区）について、林野庁京都府森林管理事務所が地元関係者や専門家と意見を交わして、設置した意見交換会は25日、ヤマザクラなど植栽のための1カ所当たり最大500平方メートルの無立木地を確保することなどを盛り込んだ「今後の取扱方針」をまとめた。5回の意見交換の成果を取り入れ、たもので、今後毎年2回の意見交換を継続する。

【本田裕之】

の保全、林内利用促進に向けた取組を進める。ヤマザクラとカエデは他

段階的整備の4点に重点を置いた。落葉広葉樹植栽では、ヤマザクラの維持▽カエデ類の世代交代▽アカマツ林の再生の3点が課題と整理。ヤマザクラとカエデは他の樹種の成長に妨げられることが、苗木を植える場所や植栽法の関係から、嵐山国有林の規制上、500平方メートルの無立木地を確保することになった。今月下旬から1カ所ずつ先行実施され、落葉広葉樹だけを、落葉広葉樹を中心に小径木も含めて約80本を伐採した。来月中旬にカエデ、サクラ10本、イロハモミジ3本、5組、ヤマザクラを植える。福田淳所長は「意見交換会では、針葉樹に比べ落葉樹の植栽に不慣れで、場所から伐採にも抑制的だった関係で昨年6月に設置した嵐山保護会の役員4人と天龍寺・宗務総長、同国有林に隣接する「嵐山モンキーパークいわやま」の理事長、NPO法人「嵐山再生支援センター」の代表者らと、今年度の事業予定説明と数年間の事業実施候補地を巡る視察、2月に事業実施結果説明と次年度の事業実施場所の検討を行う。

今後毎年9月にその年度の事業予定説明と数年間の事業実施候補地を巡る視察、2月に事業実施結果説明と次年度の事業実施場所の検討を行う。

平成22年2月27日（土）毎日新聞（朝刊）24面（京都版）





# 山地災害と治山事業

平成22年 3月15日

京都大阪森林管理事務所 野村 昭二

# 目 次

1. 近年における山地災害の状況
2. 鞍馬山・貴船山国有林の山地災害危険地区
3. 鞍馬山・貴船山国有林における現状と対策
4. 個別箇所における具体的対策
5. 危険箇所におけるソフト対策の重要性
6. 山地災害の予兆と対策



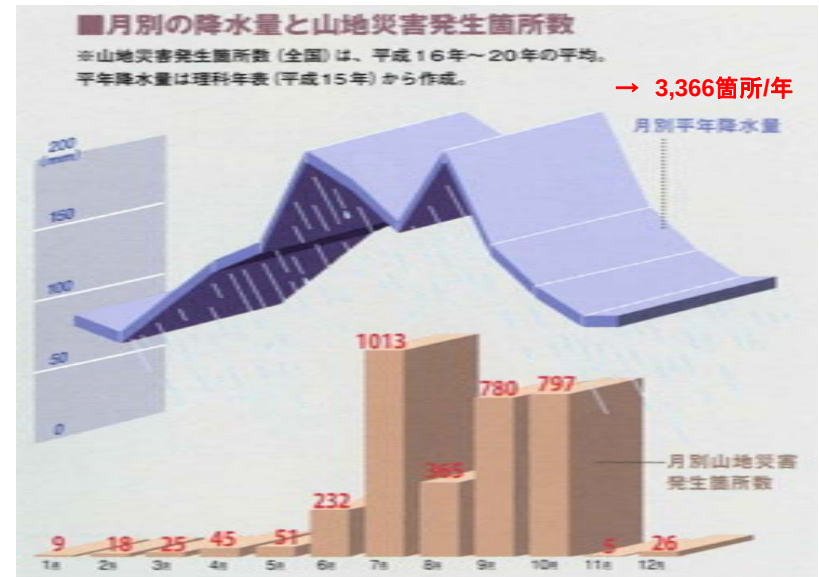
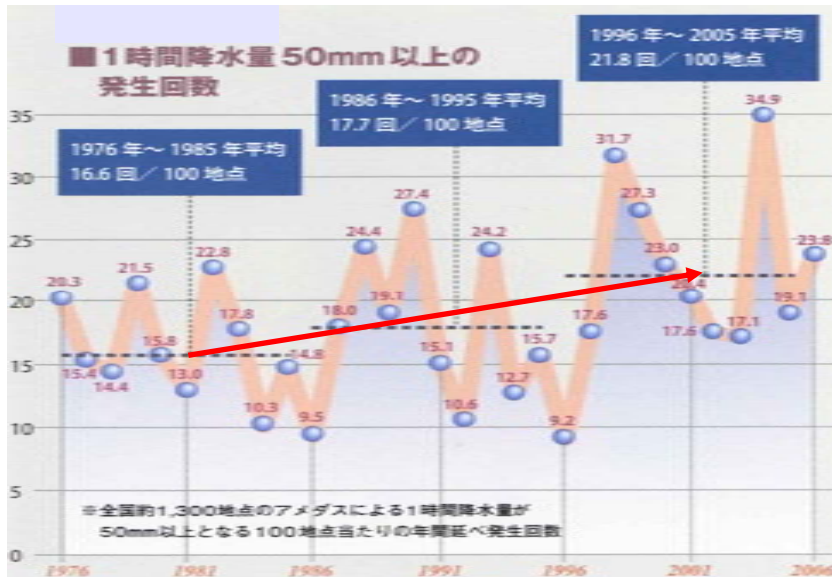
# 1. 近年における山地災害の状況(全国)

(我が国の山地災害の発生状況等)

- 「非常に激しい雨(1時間降水量50mm以上)」のアメダス100地点当たり年間発生回数  
16.6回(昭和51年～昭和60年平均)→21.8回(平成8年～平成17年平均) (気象庁資料より)
- 山地災害発生箇所数  
約3,400箇所/年(平成16～20年における平均値)

地球温暖化

強い降雨現象は頻度が増す可能性が非常に高く、洪水リスクを増加させる。  
(「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)作業部会報告書(平成19年4月6日公表)」)



- 山地災害危険地区数

約18万3千箇所(平成19年度末)

|            |          |
|------------|----------|
| 山腹崩壊危険地区   | 約 6万9千箇所 |
| 崩壊土砂流出危険地区 | 約10万8千箇所 |
| 地すべり危険地区   | 約 6千箇所   |

## 2. 鞍馬山・貴船山国有林と山地災害危険地区

### 貴船山国有林

6林班～7林班

面積:123.4ha

### 鞍馬山国有林

4林班～5林班

面積: 97.0ha

奥ノ宮

貴船神社

蛇谷橋

貴船口駅

山地災害危険地区とは、全国における山地災害発生状況から、地形や地質、植生状況等の条件により、統計的に森林の状態を評価し、崩壊や土砂流出等の危険が高いと考えられる箇所のうち、人家、道路など保全対象への影響が大きい地区を示したものです。

### 山腹崩壊危険地区

(10地区 71.00ha)

#### 【山崩れが起こりやすい斜面】

- ・山の斜面に亀裂やわき水がある
- ・岩石がもろく崩れやすい地質である
- ・過去に山崩れがあった
- ・山崩れがあった場所に隣り合っている
- ・急斜面で、軟弱な地盤がある
- ・水の集まりやすい斜面地形である
- ・ときどき落石がある



### 崩壊土砂流出危険地区

(10地区 16.48ha)

#### 【土石流が起こりやすい溪流】

- ・溪流が急である
- ・溪流に大きな石やたくさんの土砂がある
- ・上流が山崩れなどで荒れている
- ・過去に土石流があった



### 地すべり危険地区

(該当なし)

#### 【地すべりが起こりやすい山の斜面】

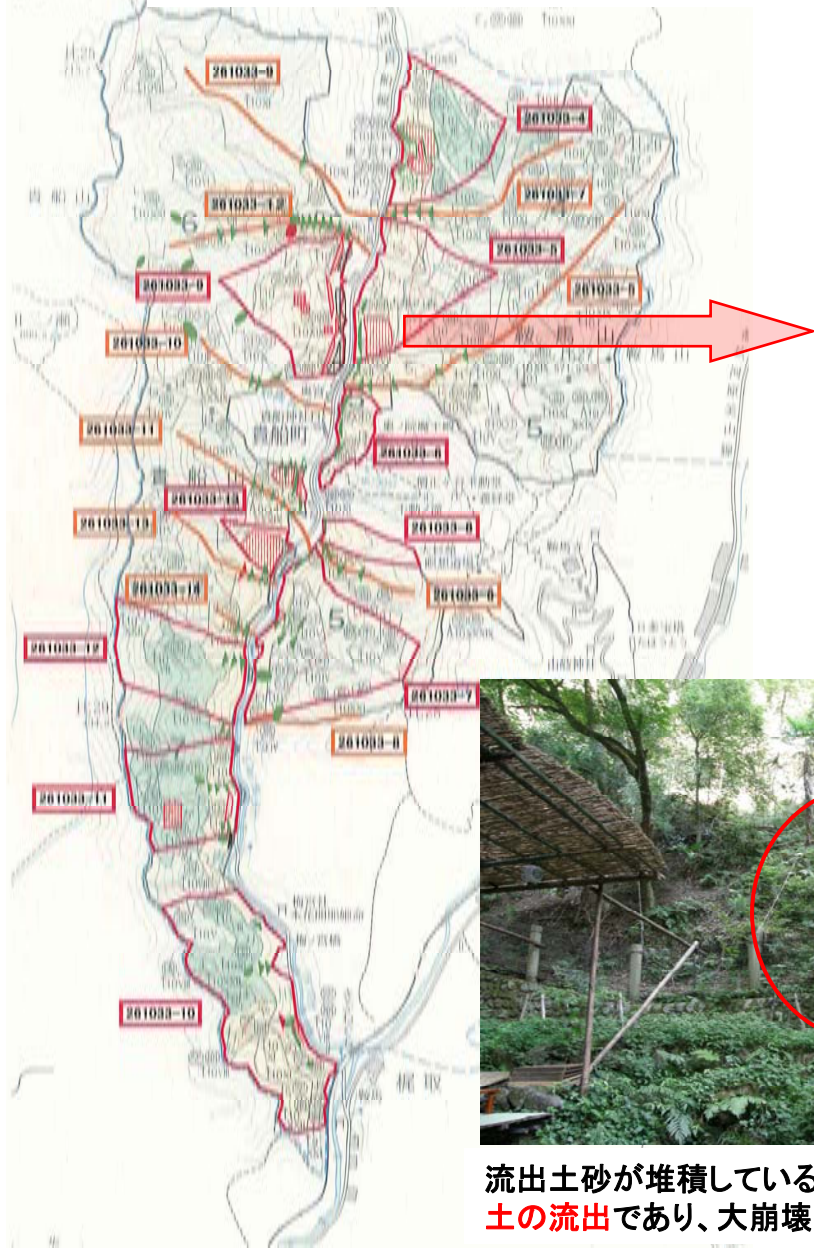
- ・過去に地すべりのあったところで、今も少しずつ動いている
- ・わき水や地下水が豊富である
- ・断層や、もろく、崩れやすい岩石がある
- ・火山や温泉の影響で粘土化した土がある





### 3. 鞍馬山・貴船山国有林における現状と対策

#### (1) 林内の状況(代表事例)



- ・浸食を防止する下層植生に乏しい林内
- ・シダ類しか見られないのは、生息する鹿の影響と思われる。



流出土砂が堆積しているが、一般的な山腹表土の流出であり、大崩壊には至らない。



以前の山腹工施工地であるが、植生が安定せず、老朽のため、土砂流出の危険性がある。



# 3. 鞍馬山・貴船山国有林における現状と対策

## (2) 対策の方法(代表事例)



過剰な土砂堆積  
は危険度を増す。



流出する土砂を安全に  
排出することが一番!!

土砂の流出は山崩れ？



山腹斜面を流下する雨水を  
分散して浸食を防止する。

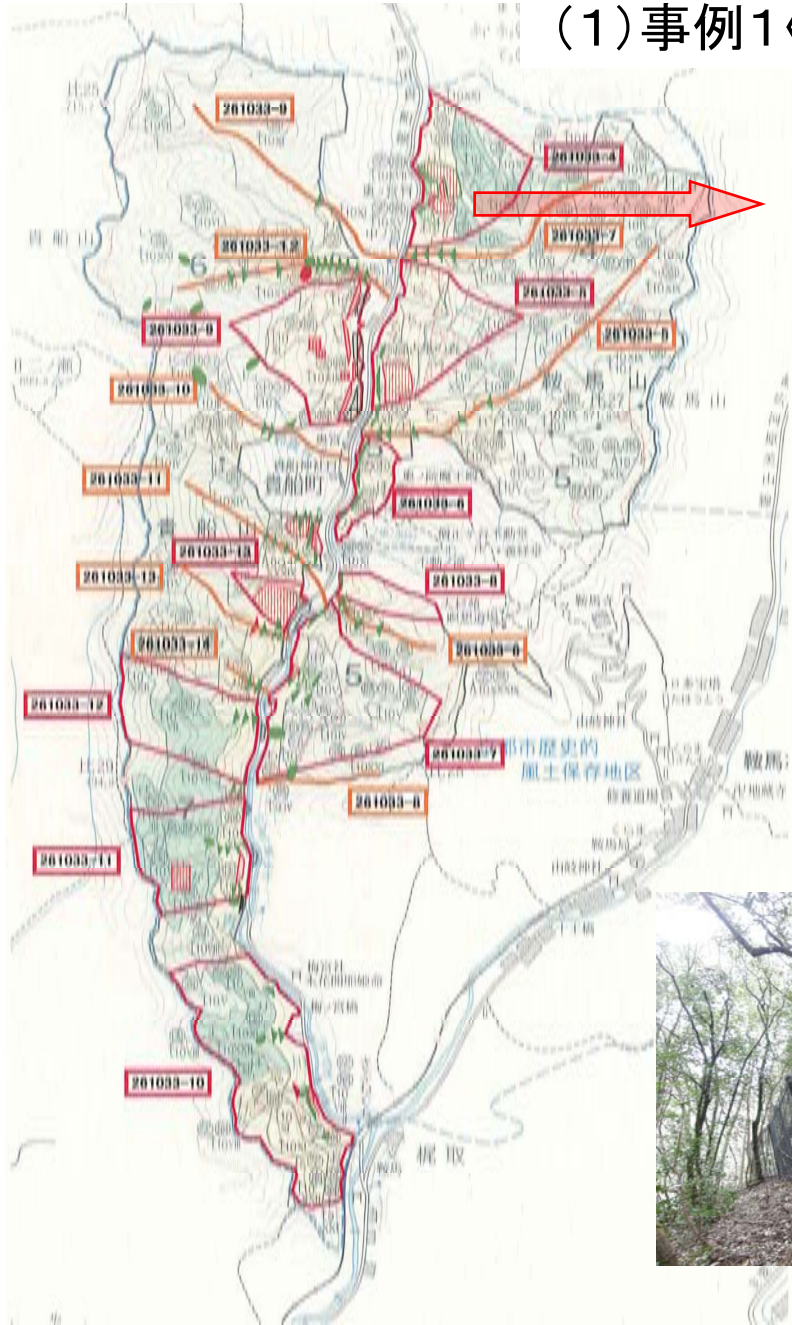


(丸太筋工の施工状況)



# 4. 個別箇所における具体的対策

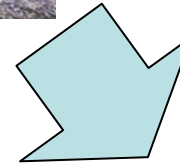
## (1) 事例1〈平成21年度施工箇所〉



(工事着手前の状況)



林内は急傾斜のうえ、  
浮き石が多い。



(落石防護柵工)



(工事実行中の状況)

丸太筋工やマット伏工などにより  
表土浸食を防止する

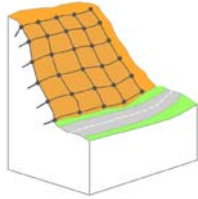


# 4. 個別箇所における具体的対策

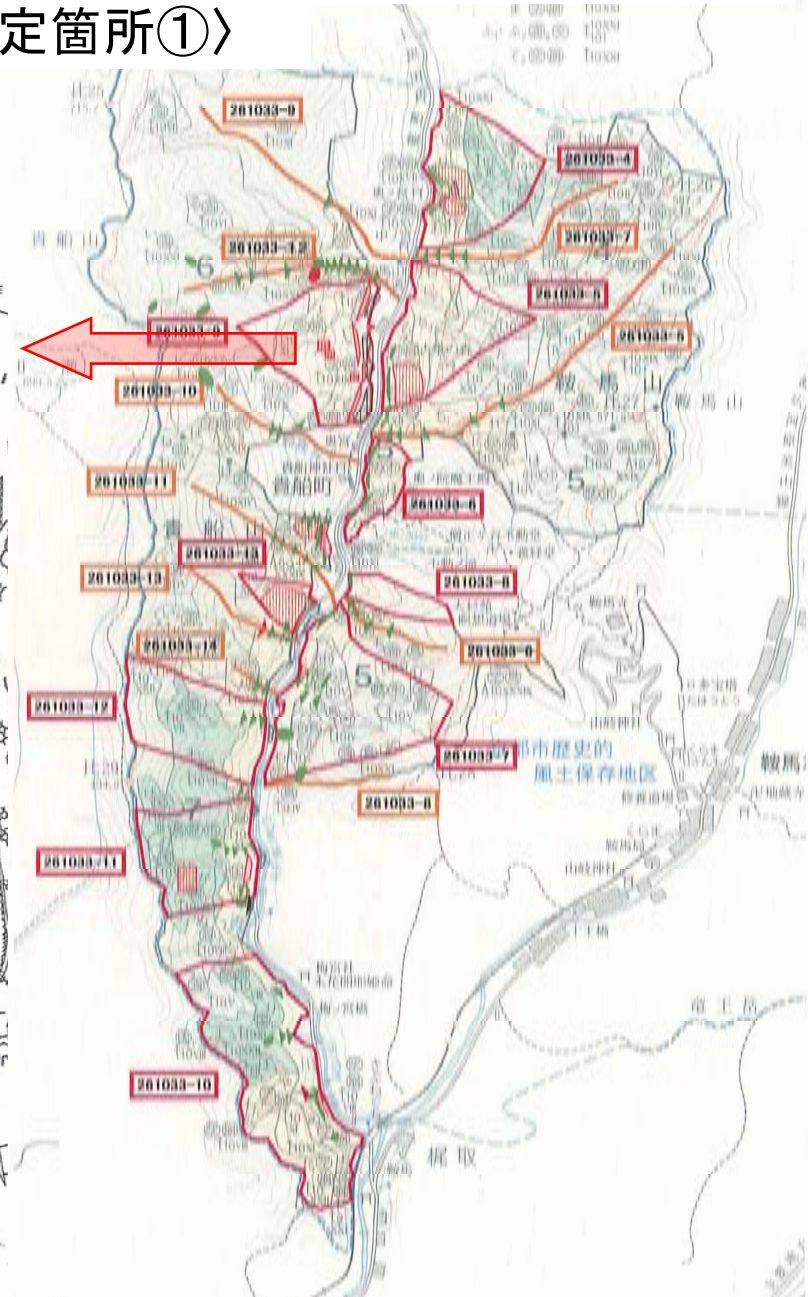
## (2) 事例2<今後の予定箇所①>



落石防止網イメージ



落石防護柵工









## 4. 個別箇所における具体的対策

### (4) 事例4〈今後の予定箇所③、④〉



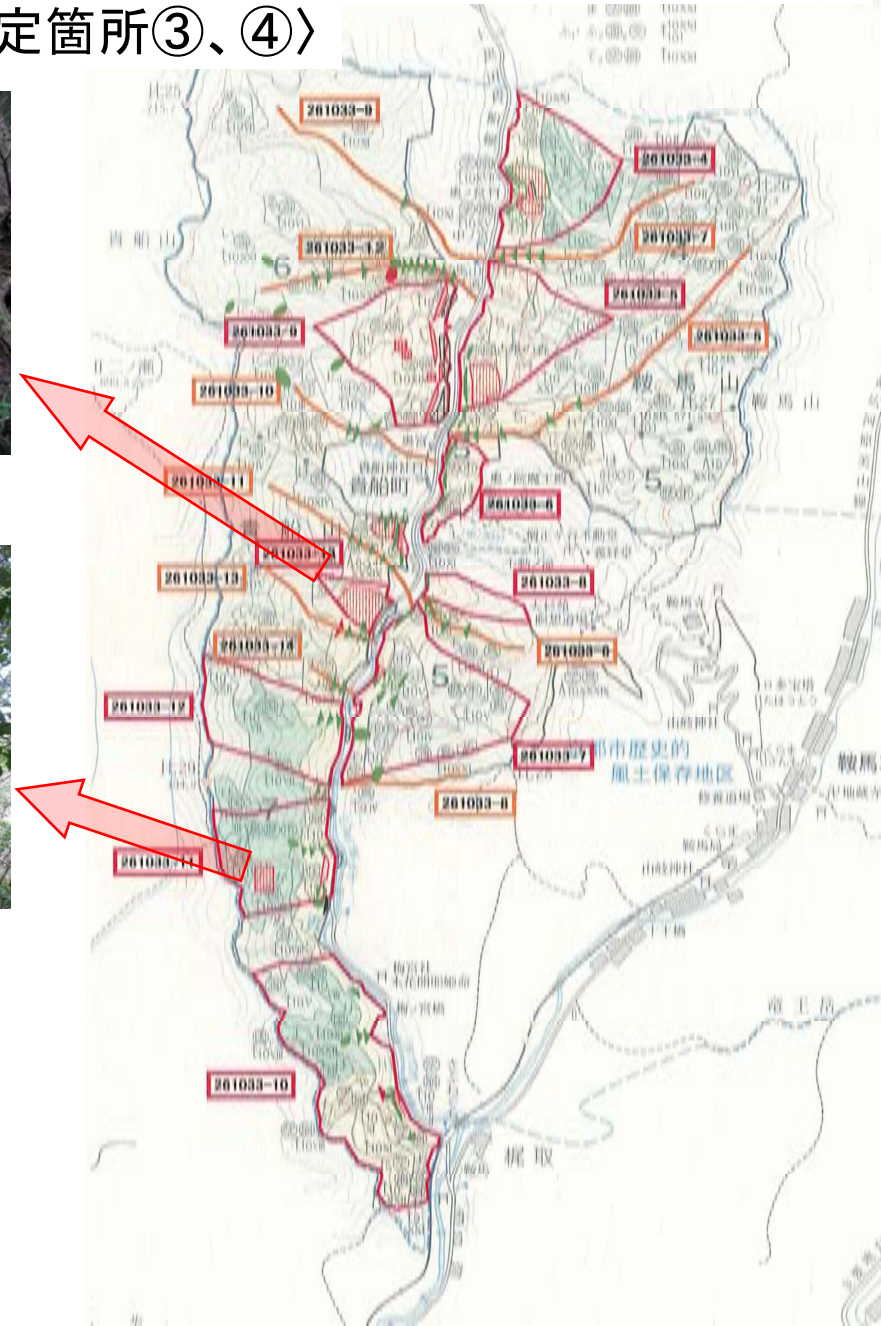
③倒木整理、丸太筋工により保全を図る



④落石防止網工、岩接着工により保全を図る



人工林を保全することで、府道  
への落石被害は緩和される。



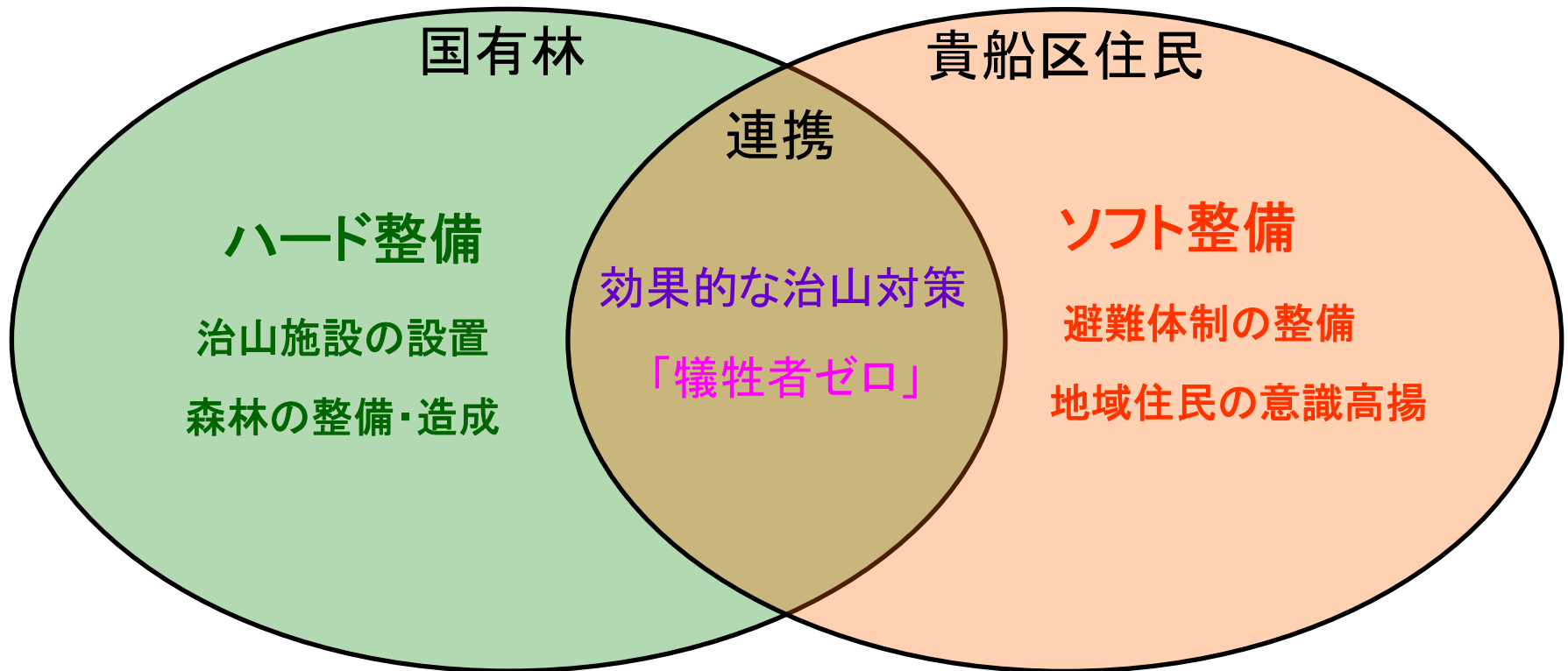


## 5. 危険箇所におけるソフト対策の重要性

事業名：山地災害総合減災対策治山事業

〈政策目標〉

山地災害による被害の軽減（「犠牲者ゼロ」）



## 6. 山地災害の予兆と対策

山地災害の  
危険信号を  
見逃すな!



8つの危険信号に  
注意して下さい。

山地災害が起こる場合、山の斜面や川の河床をよく観察してみると、多くの場合、事前に危険信号と思われる変化がキャッチできます。特に以下の8つの危険信号に注意して下さい。

亀裂が  
走った



山の木が倒れたり、斜面に亀裂が走った

石が  
落ちてきた



山の斜面から石が落ちてきた

わき水が  
止まった



山で湧き出た水の量が急に減った

わき水が  
増えた



山で湧き出た水の量が急に増えた

川が  
にこった



川がにこり、流水の音がほとんど聞かれない

水位が  
下がった



大雨や雪が降り、川の水が急に減った

井戸水が  
にこった



大雨や雪が降り、井戸の水が急に減った

地鳴りが  
する



斜面や川の音が聞こえてくる

危険信号を  
キャッチしたら!

山くずれのおそれがある地区では、テレビなどの放送・情報に注意しましょう。



すぐ避難!

危険を感じたら早めに指定された場所へ避難しましょう!



すぐ通報!

災害が起こったら、すぐ119番(119番)に通報しましょう!



ふだんから

家族や地域ぐるみで山くずれのおそれがある場所や避難場所について話し合うとともに、実際に自分の目で確認しておきましょう。



あふない!!

災害の危険がある場所には近づかないようにして下さい!

